

疑問に思うこと【カゼ編】

- 鼻水が大量にダダー出ているのに、処方箋には該当する薬が処方されていない
- 病院で処方された、カゼ薬を飲んでも鼻水、鼻づまりがちっとも止まらない
- 咳止めを飲んででも1週間以上咳が続く
- 1回の処方で5種類以上のカゼ薬が混じって入っているが、こんなにたくさんの種類を一気に飲んで良いのか？
ましてや長期間続けてカラダに害はないのか？
- 抗生剤を3日以上続けて飲んでいるのに熱が下がらない



「カゼ」を相手にして西洋薬のカゼ薬を1回に4種類、5種類を飲むことは日本では日常的によく見かけます。それらすべては「とりえず一時的に症状を緩和する＝対症療法である」ことの説明がなかなかなされていません。そのため患者さんは一生懸命カゼ薬を飲んでるわりには治らないと感じています。なかには「自分が悪いんじゃないかしら」と自分を責める患者さんもおられます。ウイルス感染症に対しては、西洋薬はすべて対症療法ですと説明が事前にされていれば患者さんも納得するかも知れません。カゼには抗菌薬は不要という説明もないので現場では混乱が起きます。

「じゃあ、何とかする方法はないのか？」ということです。ウイルス感染症に関して言えば、漢方薬を使った方が圧倒的に有利です。早く解熱をし、鼻水、鼻づまりも治すことができます。漢方薬がすべてではなくて、ウイルス感染症、冷え、微小循環障害、神経症、虚弱などに関しては西洋薬より有効な手段ですよ、という提案です。心筋梗塞、脳梗塞、がん、胃潰瘍になったら、まっ先に西洋医学的処置が大切です。こういう病気は西洋医学が優先されます。ですからどっちが良いとかではなく、両者を上手に併せ使うということです。せっかく世の中に存在する薬を総動員して、使わないのはもったいないと思います。



発熱時に何を考えるのか？

発熱+

感染症 (同時にできる)
西洋医学的診療+漢方の診療

感染症以外
精査を進める



お知らせ

岐阜市の漢方外来予定日 12月8日(土)、15日(土)
14:00-17:30 場所: 中島小児科(岐阜市鍵屋東町2-1)
※この外来はすべて『院外処方』となります。

小児夜間急病センター当番日 12月28日(金)
19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院にて

休診のお知らせ
12月12日(水)、14日(金)PM、19日(水)~22日(土)
都合により休診します。御迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

年末年始の外来
12月29日(土)まで外来診療致します。
来年は1月4日(金)AMのみ外来を行います。